

# 痙攣とてんかん

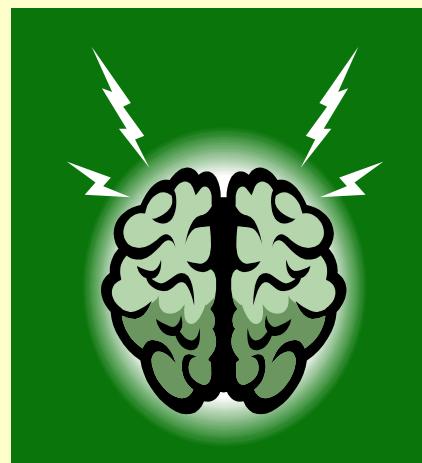
同じではないことに注意

1. 痙攣とは症状

2. てんかんとは病名



# 痙攣時に緊急性が必要な理由

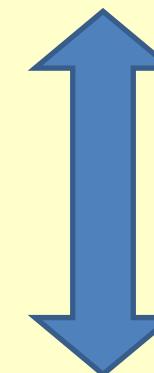


脳の異常興奮

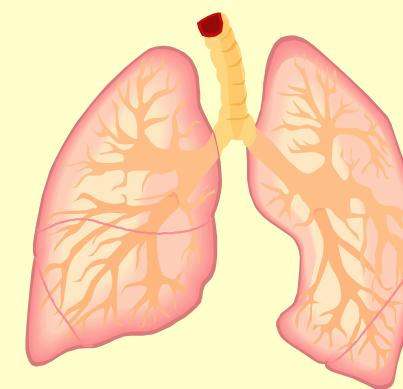


骨格筋の連続収縮

酸素の重要



酸素の供給



呼吸抑制

# 痙攣時の最初の対処は 患者さんの安全確保

- 転倒・転落・外傷を防ぐことが大事
- 必ず応援を呼ぶ
- 患者さんから離れないこと





# 痙攣の観察

- 気道の確保、嘔吐時の対処
- 痙攣前に感じる前兆
- 全身性か局所性
- 持続時間
- 特徴的な症状



# 痙攣時の気道確保

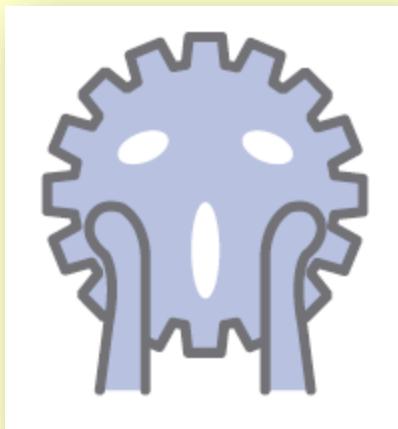
- ① 顔を横に向けた気道確保
- ② 唾液・嘔吐の誤嚥予防
- ③ 口腔内に物をいれることは、  
窒息や誤嚥のリスクが高くなる



# 痙攣が発生する前に感じる前兆

**前兆**：発作が起きる前の  
数秒～数分前におきる症状。

**例**：耳鳴りがする  
見え方がおかしい  
手足が痺れる



# 痙攣の部位

全身性

強直性



or

間代性



局所性

始まった部位&広がり方





# 持続時間

- ✓ 通常痙攣は2分を超えることは少なく  
⇒長くとも5分以内

## けいれん重積発作

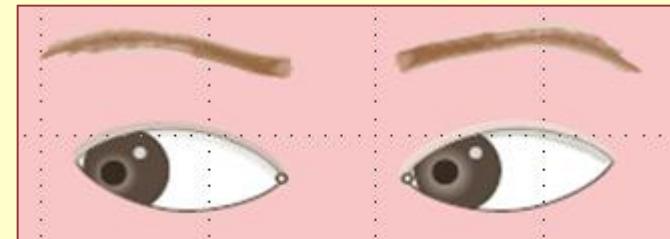
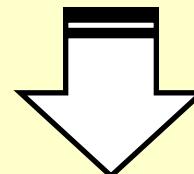
- けいれん発作が重なる
- ✓ 一日2回以上
- ✓ 5分以上持続する痙攣

生命の危険



# 特徴的な症状

## 眼球・頭部の偏位



## 責任病巣がわかることも！！

例：左側頭葉の脳腫瘍により痙攣  
⇒ 眼球・頭部は右に偏位



# 痙攣の観察

- 気道の確保、嘔吐時の対処
- 痙攣前に感じる前兆
- 全身性か局所性
- 持続時間
- 特徴的な症状